

山行報告書

報告書作成

2007年5月20日

山名 [山域]	大猫山 [北アルプス]	目的と方法	劔岳の展望
登山期間	2007年5月12日(土)	山行形態	周回
参加人数	1人		

行動記録

豊田南IC(3:30)==長良川SA(4:45,5:00)==清見IC(5:30)==馬場島P(8:30)--取水口(9:15)
 --大猫平(11:30)--**大猫山**(12:30)--2,135m(12:45,13:00)--ブナクラ峠(14:30,14:40)--
 取水口(16:20)--馬場島P(17:00,17:15)==上市温泉「アルプスの湯」(17:45,18:45)==帰宅

概念図



大猫山



大猫平と奥大日岳



カタクリ

登山道の花

- ・ニリンソウ
- ・サンカヨウ
- ・イワウチリ
- ・カタクリ
- ・キスミレ
- ・キンバイソウ

日誌

山に登る人なら因縁の山が幾つかあると思うが、猫又山は私の因縁の山の1つである。やはり、今回も登山口に至るまで2つ予想外のことがあった。1つは東海環状道が土岐-美濃間で通行止めだったため、東海北陸道から回り30分のロス。更に、馬場島に着くと治山工事のため通行止めでブナクラ谷の駐車場まで歩くことになった。(治山工事は11/30まで、要確認。)この林道は2度歩いており、いづれも秋だったためつまらない林道歩きだったが、この時期は所々にニリンソウなど山野草が咲いており楽しい。苦勞せず駐車場の登山口に辿り着く。ここからが本番！猫又平まで急登の連続。残雪も多く歩きづらい。しかし、イワウチワが途切れることはなく、尾根中腹にはカタクリの群生地があり、思ってもいなかった収穫！あまり知られていない登山道だがよく整備されており、赤布も多く付けてあり迷うことはない。背に日差しを浴びながら、汗だくで大猫平に出ると歓声を上げてしまう。大猫平の残雪の美しさと劔立山の大展望。もう一息で大猫山山頂である。稜線に出ると前方にもう少し高いピークがある。そこが大猫山ではないかと思い、頑張ってそこまで行くことにする。後で地図で確認すると、稜線に出たところが大猫山であることに気が付き、素通りしてしまったのだが、引き返す気力はなかった。何故、稜線上の小ピークに大猫山と名が付いたかを非常に疑問に思いながら昼食を済ます。左に毛勝三山(毛勝山は残念ながら釜谷山に隠れる)、右に劔立山、前方に後立連峰、大快晴の中贅沢な昼食であった。猫又山まで行く計画であったが、下山が心配であったためブナクラ峠を目指す。猫又山の下は雪田になっておりトラバースする。ブナクラ峠まで稜線を下るが、稜線が狭く所々切れていて急な斜面を下るため、軽アイゼンを持ってきたことを後悔する。少し滑落するなど冷や汗をかきながらなんとかブナクラ峠まで辿り着き安堵の溜め息が出る。ここからは広い

ブナクラ谷を気持ち良く下ることができる。知っている道なので安心感がある。堰に近づくと樹林帯となるた